

第13号の発刊にあたって

第13号の『プロフェッショナル会計学研究年報』の発刊を迎えることができました。これも偏に、会計プロフェッション研究科内外の諸先生方のご熱心なご指導の賜物であり、心より御礼申し上げます。

本プロフェッショナル会計学専攻では、学位の提出要件として、研究成果を本年報や学会誌などにおいて公表することが義務づけられています。本年報には、昨年の10月に開催された博士後期課程研究報告会で、研究指導教員や副研究指導教員などの査閲を通った、一定の水準が確保された研究論文が掲載されていることになります。

今年度の当該報告会では5つの報告があり、本号では、厳選された3編の論文が掲載されています。このうち2編は管理会計領域の研究であり、1編は税務会計領域の研究です。これら3編の研究は、各自の博士学位申請論文へと発展していくものです。

現在、日本では、統合報告制度の確立が喫緊の課題です。そこでは、経済成長、社会的包摂、環境保護という3つのサステナビリティに関する主要な要素を調和させることが不可欠であり、その社会ニーズに合致するよう、各国でも統合報告制度が確立されてきています。これに付随したさまざまな領域に亘った研究が必要であり、この3編もそれに該当する研究であるといえます。

博士学位申請論文の完成がより確実なものとするため、次号からは本専攻の在籍者の全員が投稿できるように、さらなる指導体制の充実を図って参ります。引き続きの多方面の方々からのご指導ご鞭撻を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年3月

会計プロフェッション研究科

研究科長 小西 範 幸